



## アドビシステムズ社とマイクロソフト社が OpenType フォント仕様を発表

共通のフォント型式により使いやすさが向上し、  
プリントと Web オーサリング環境を統合。

【1997年4月28日】

Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社:米国カリフォルニア州サンノゼ)とMicrosoft Corporation(マイクロソフト社)は、デベロッパとソフトウェアベンダー(ISV)各社に対してOpenTypeフォントの仕様を公開することを発表しました。

OpenTypeは、両社が共同で開発した共通のタイポグラフィソリューションであり、現在最先端のType 1フォントとTrueTypeフォント技術を組み合わせるものです。

OpenTypeは、異なるコンピュータプラットフォームが混在する環境におけるフォント管理を効率化する次世代のフォント型式であり、より豊かな機能を備え、ドキュメントファイルなどへのフォントの埋め込みとインターネット対応アプリケーションを管理するためのインターネットパブリッシング環境が統合化されています。オープンな環境ではないフォントの埋め込み技術とは異なり、OpenTypeは、Webブラウザやオーサリングツールなどで対応を予定するデベロッパへ無料でライセンス供与される、オープンなソリューションです。OpenType仕様は、アドビシステムズ社(<http://www.adobe.com>)とマイクロソフト社(<http://www.microsoft.com>)の両Webページで入手することができます。

Agfa Typographic SystemsとMonoType Typography Incorporatedを含む業界を代表するフォント開発企業各社が、すべてのパブリッシングメディアにおける高品位のタイポグラフィと知的所有権保護を実現する技術として、OpenTypeとフォント埋め込み技術を支持することを公式に表明しました。これら各社は、アドビシステムズ社とマイクロソフト社とともに、1998年初頭までにOpenTypeのタイプフェイスを出荷することを計画しています。さらに、マイクロソフト社は、Hermann Zapf Palatinoの新しい拡張文字セット版である、同社初のOpenTypeタイプフェイスを発表しました。Zapfは、Linotype-Hell AGとのプロジェクトの全般を監督してきました。この新しいフォントは、先週ニューヨークで開催されたSeybold ConferenceのType Galleryで展示されました。

「OpenTypeは、Type 1とTrueTypeのもっとも良い点を統合し、従来のパブリッシングの良いところをすべてWebへもたらしめます。」とアドビシステムズ社タイププロダクツディレクター、Sharon Wienbar(シャロン・ワインバー)は述べています。



「OpenType 仕様の公開は、書体にとって大きな前進です。」とマイクロソフト社のデベロッパレーショングループ、ジェネラルマネージャー Tod Nielsen 氏は述べています。「業界における支持の高さから見て、OpenType が新しい共通のフォント型式になることは明らかです。マイクロソフト社とアドビシステムズ社は、これを実現し、コンピュータ上でフォントを誰でも簡単に使えるようにするために尽力してきました。」

#### 統合された Web パブリッシング

OpenType は、統合化されたオーサリング環境を実現します。出版者は、複数のメディアで、同じフォントとフォーマット機能を使用することができます。従来のパブリッシング環境で使用される OpenType フォントも、ロスのない圧縮技術を使用して Web ドキュメントに埋め込むことができます。その結果、フォントデザイナーの指示や品質向上が保持され、最高品質の表示と出力が保証され、ファイルサイズが大幅に削減されて Web ページの伝送が高速化します。

「OpenType が、インターネットを含むすべてのパブリッシング環境において、ドキュメントを表示および印刷するための、最高品質のタイポグラフィックソリューションを提供することは明らかです。Monotype Typeface Library は、OpenType 形式に対応します。」と Monotype 社社長 Ira Mirochnick 氏は述べています。

さらに、OpenType フォントは、フォントを埋め込むことの可否とその方法をオーサリングシステムへレポートすることによって、デザイナーの知的所有権を保護します。オープンな環境ではないフォントの埋め込み技術とは異なり、OpenType は、Web ブラウザやオーサリングツールで対応を予定するデベロッパへ提供されるオープンな規格です。

「当社の顧客のアプリケーションは、高品質のタイプフェイスデザインを必要とします。」と Agfa のタイポグラフィックシステムズ担当バイスプレジデント、Bob Givens 氏は述べています。「OpenType とフォントの埋め込み技術は、フォントベンダーの知的所有権を保護しながら、コンテンツデザイナーが必要とする創作の自由をもたらします。」

#### マルチプラットフォームでの使い勝手が向上

OpenType 形式によって、ユーザは、フォントの形式やコンピュータプラットフォームに基づいた選択をするのではなく、機能や美的な要件に合った書体を選択することが可能になります。デベロッパは、例えば少ないファイル少量やスクリーン出力の向上などといった、Type1 フォントまたは TrueType のいずれかの特徴を持った OpenType 型式の書体を構築することができます。OpenType フォントは、Windows® 95 や Windows NT™ オペレーティングシステム、そして Macintosh™ を含むさまざまなコンピュータプラットフォーム上で同じように機能し、今日存在する互換性の問題にわずらわされることなく、各プラットフォーム間で簡単に移動することができます。



#### 先進的なタイポグラフィック機能

OpenTypeは、1つのフォントでより豊かなフォーマットのオプションを提供します。例えば、ドキュメントの作者は、フォントを切り替えることなく、装飾的な末端、小さな大文字、その他のスタイルを選択することができます。またOpenTypeは、合字の使用を容易にし、接合スクリプトを改善し、メトリックやカーニング情報を向上し、スペーシング、ラインブレイク、およびジャスティフィケーションを改善します。

#### 各種言語の文字に関するサポート

OpenTypeは、TrueTypeとType 1に関する各種言語文字サポートを提供します。これには、例えばラテン文字とキリル文字など、1つのOpenTypeフォントにおいて複数の言語グループをサポートする機能が含まれます。OpenTypeは、文字コードに関してUnicode規格をサポートしますが、テキストを多数の言語で正しく設定するために必要な、グリフ選択機能もサポートします。例えば、アラビア語では、各文字を適切なフォームで正しく表示するには、合字と文脈的代用の両方が必要です。

なお、日本語書体に対するOpenTypeの仕様は、後日発表いたします。

Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)は、1982年に創設され、米カリフォルニア州サンノゼの本社を拠点に活動を展開しています。アドビは電子メディアによる書類の作成・表示・印刷・伝送などを実現するソフトウェアやコンピュータ技術の研究開発を行っています。自社技術をコンピュータ機器や印刷器材の大手メーカーへライセンス供与するほか、コンピュータで利用可能なフォントやアプリケーションソフトウェアの開発も行い、ヨーロッパと環太平洋地域の拠点からの販売網を通じて世界各地に製品を提供しています。アドビシステムズ株式会社は、1989年に設立されて以来、世界中の製品メーカーとの協力により、日本市場向けポストスクリプト製品の開発に携わると共に、Adobe Illustrator®、Adobe Photoshop®、Adobe PageMaker、Adobe Acrobat®をはじめとする各種アプリケーションや書体の開発、販売、サポートを行っております。